

特定保守管理医療機器 アコマ サクションブック 1. 1

【禁忌・禁止】

使用方法

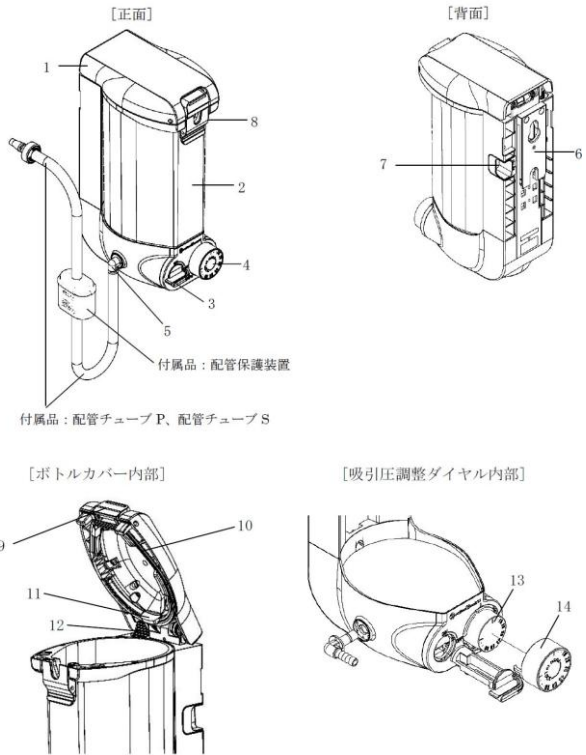
*1.他社製のライナーを本品にセットして使用しないこと。
[本品専用の「アコマ サクションブック 1.1 ライナー」
以外は使用できない。]

*【形状・構造及び原理等】

本品は病院の医療ガス配管設備から供給される陰圧を利用して、排液等の吸引を行う真空吸引機である。
販売名「アコマ サクションブック 1.1 ライナー」をセットして使用する。

形状

本体



No.	名称	No.	名称
1	ボトルカバー	8	エスカッション
2	ボトル	9	カバーロック
3	ON-OFF レバー	10	カバーパッキン
4	吸引圧調整ダイヤル	11	脱着ツマミ
5	配管チューブ接続口	12	蛇腹チューブ
6	壁掛けホルダ	13	ツマミ
7	ボトル固定フック	14	ツマミキャップ

寸法 : 107 mm(幅) × 159 mm(奥行) × 276 mm(高さ)

質量 : 1300 g

構造・構成ユニット

1.本体

- (1)アコマ サクションブック 1.1 P
- (2)アコマ サクションブック 1.1 S

2.付属品

- (1)配管チューブ P (アコマ サクションブック 1.1 P に付属)
- (2)配管チューブ S (アコマ サクションブック 1.1 S に付属)
- (3)配管保護装置
- (4)吸引チューブホルダ
- (5)落下防止プレート (ネジ付)
- (6)落下防止ネジ

作動・動作原理

医療ガス配管設備の吸引アウトレットから配管チューブにより供給された吸引圧は、吸引圧調整ダイヤルで設定された圧力に調整され、ボトル内が減圧される。この吸引圧により、ボトル内にセットされたライナー内に排液を吸い込み貯留する。

【使用目的又は効果】

病院の医療ガス供給システムから供給される陰圧を利用して、液体又は粒状物質の吸引等の治療に用いる装置である。

*【使用方法等】

詳細については取扱説明書を参照する。

使用方法

1.使用準備

- (1)吸引器本体の設置
 - 1)必要に応じて、本体背面の左右どちらかに吸引チューブホルダを取り付ける。
 - 2)配管保護装置を配管チューブに接続する。必要に応じて、本体側配管チューブの長さを調整して、本体の吸引配管接続口に配管チューブを接続する。
 - 3)壁掛けホルダを壁のフックベースまたはスライドベースに取り付ける。
 - 4)配管コネクタを壁配管に接続する。
- (2)ライナー*をボトルにセットする
 - 1)ライナー*を準備する。
 - 2)ボトルカバーを開ける。
 - 3)ライナー*のアダプタをボトルのエスカッションに取付ける。
 - 4)ライナー*の挟み込みに注意して、ボトルカバーを確実にロックする。

2.使用方法

- (1)吸引の開始
 - 1)吸引圧調整ダイヤルを回し、吸引圧力を設定する。
 - 2)ON-OFF レバーを反時計回りに 90°回転し、吸引圧力を吸引器本体に導入する。
 - 3)ライナー*のアダプタキャップを外し、ライナー*を膨らませた後、患者側の吸引チューブ*をライナー*のアダプタに接続する。
 - 4)吸引器具*の先端に吸引圧が発生していることを確認してから、吸引を開始する。
 - 5)最大量まで吸引すると、ライナー*の止水フィルタによって吸引が停止する。その際、ライナー*が膨張しボトルカバーの隙間から空気がもれることがある。その場合は、ON/OFF レバーをオフにし、ライナー*を交換する。
- (2)吸引の停止
 - 1)患者側の吸引チューブ*を取り外し、ライナー*のアダプタキャップをアダプタに取り付けたあと、ON-OFF レバーを時計回りに 90°回転させて吸引を停止する。

取扱説明書を必ずご参照ください。

- 2)カバーロックの OPEN 部を押してボトルカバーを開ける。
- 3)ボトルを手で押さえながら、ライナー*上部の穴に指を通し、ライナー*を持ち上げて取り出す。

3.使用後の取り扱い

(1)ライナーの廃棄

- 1)排液が凝固していない場合は、ライナー*を取り出した後、外部より軽く揉みほぐして凝固剤を分散させる。
- 2)排液が完全に凝固したことを確認した後、ライナー*を院内の「廃棄物処理規定」に従って処理する。

(2)使用後は、清掃を行い、正しく保管する。

4.洗浄

ボトルおよびボトルカバー、ON-OFF レバー、吸引圧調整ダイヤルのツマミキャップが汚れた場合は、分解・洗浄が可能。

洗浄後は水分をよく切り、日陰で完全に自然乾燥させた後、組み立てる。

5.消毒／滅菌

(1)消毒方法

消毒剤を使用した場合は、水又はぬるま湯を浸したやわらかい布等で消毒剤をふき取り、清潔でやわらかい布等で余分な湿気を取る。

消毒剤	備考
塩化ベンザルコニウム水溶液	オスバン、ウェルバス等
塩化ベンゼトニウム塩化物	ハイアミン等
1.0%次亜塩素酸ナトリウム ※ツマミ、印刷部分には使用不可	ミルトン等
エタノール	消毒用エタノール等
第二級アルコール	イソプロパノール等
ペルオキシソール硫酸水素カリウム	ルビスタ等

※消毒剤の希釈率等は、各消毒剤の添付文書に従うこと。
※クレゾールの使用はさけること。

(2)滅菌方法

吸引器本体：EOG 滅菌（温度 50°C 以下、湿度 75%Rh 以下）
※ボトルを複数回滅菌すると、表面にクラックが生じる可能性がある。

6.配管保護装置の交換

- (1)配管保護装置が動作し吸引しなくなった時、吸引力の低下を感じた時、および内部のフィルタが汚れた時は、配管保護装置の交換を行う。

(2)配管保護装置の交換手順

- 1)ON-OFF レバーをオフの状態にする。
 - 2)配管コネクタを外す。
 - 3)配管保護装置と配管チューブを外し、新しい配管保護装置を取り付ける。
- ※配管保護装置の接続方向に注意する。

7.組み合わせて使用する医療機器

販売名	届出番号
アコマ サクションブック 1. 1 ライナー	13B1X00032AM1042

* は別売

使用方法に関連する使用上の注意

- 1.一つの医療ガス配管設備では一つの吸引を行い、ふたまた等の同時使用はしないこと。
- 2.吸引器本体を固定用フックに確実に取り付けること。[取り付けが不完全な場合、わずかな衝撃や振動で吸引器本体が落下するおそれがある。]
- 3.ライナー(別売)を吸引器本体にセットする時は、ライナーのテープを外さないこと。[ライナーが正常に膨らまないおそれがある。]
- 4.過貯溜防止装置が動作して吸引が停止した場合、そのまま放置せず速やかにライナー(別売)を交換、廃棄すること。[過貯溜防止装置の成分が流出するおそれがある。]
- 5.ライナー(別売)は樹脂製品なので、吸引器本体にセットする時に傷等をつけないように注意すること。[圧力がかかった時に破裂するおそれがある。]

- *6.ライナー(別売)内の排液が 1100 mL に到達するまでに吸引を中止すること。[ライナーが取り出しにくくなったり、吸引終了後にボトルカバーが開きにくくなる。]
- *7.ライナー(別売)を交換する時は、吸引チューブ(別売)を抜き取り、ライナーのアダプタにアダプタキャップを取り付けたあと、ON-OFF レバーをオフにして吸引を停止してからおこなうこと。
- 8.使用後は、ライナー(別売)のアダプタキャップをアダプタに確実にはめること。
- 9.吸引を行わない時は、必ず ON-OFF レバーを右回転し、オフにすること。[吸引を再開する際、吸引できなくなるおそれがある。]
- 10.使用中に異常を感じた時は、使用を中止すること。[排液の漏れ、又は飛散による周囲環境汚染のおそれがある。]
- *11.定められた手順により、ON-OFF レバー、吸引圧調整ダイヤル等を使用前の状態に戻した後、医療ガス配管設備の供給状態を停止し、その後接続を切ること。
- *12.液体に浸して洗浄しないこと。[液体が製品内部にしみ込むと、樹脂や金属が劣化・腐食するおそれがある。]

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- 1.使用する流量および圧力に関しては、術法、対象部位、大きさ、患者の体格と年齢、使用者の経験および技法を勘案して行うこと。
- 2.医療ガス配管設備の吸引供給装置以外には接続しないこと。[陽圧やその他の配管に接続すると患者、使用者および装置に損傷を与える、又は装置の性能が変化するおそれがある。]
- 3.本品を採血用吸引器として使用しないこと。
- 4.人工呼吸器併用時、閉鎖式吸引を行う場合は、カテーテルの閉塞に注意すること。

その他の注意

- 1.吸引器本体の吸引圧調整ダイヤルを調整しても、医療ガス配管設備以上の吸引圧力にはならないので注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

- 1.水のかからない場所に保管すること。
- 2.気圧、温度、湿度、風通し、日光、紫外線、ほこり、塩分やイオウ等を含んだ空気などにより悪影響の生じるおそれのない場所に保管すること。
- 3.傾斜、振動、衝撃等、製品の安定状態に注意すること。
- 4.化学薬品のそばやガスの発生するような場所に保管しないこと。
- 5.保管環境 周囲温度：-5-40°C
相対湿度：10-95%（結露なきこと）

耐用期間・使用期間

指定の保守・点検を実施した場合の本体の耐用期間：5年（自己認証（当社データ）による）
※耐用年数は使用環境により変動する

【保守・点検に係る事項】

詳細については取扱説明書を参照する。

使用者による保守点検事項

日常点検

- 1.外観
亀裂、損傷、変形、変色および劣化がないかを目視で確認する。
- 2.各部の点検
亀裂、損傷、変形、変色、劣化および取り付け位置のズレがないかを目視で確認する。
- 3.ボトルカバー
開閉にガタつきが無く、スムーズに行えるかどうかを確認する。

取扱説明書を必ずご参照ください。

4.吸引圧調整ダイヤル

回転がスムーズに行えるか、吸引圧調整ダイヤルの回転に伴い、吸引圧力が変化するかを確認する。

5.ON-OFF レバー

吸引の開閉が正常に行われるかを確認する。

6.配管保護装置

内部に水分（水滴）がないことを確認する。

業者による保守点検事項

- 1.二年に 1 回を目安に定期点検を実施する。
- 2.修理の際は、購入した販売店もしくはアコマ医科工業(株)に連絡する。

【主要文献及び文献請求先】

文献請求先

アコマ医科工業株式会社
販売促進課：03-3811-4151

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者の氏名

アコマ医科工業株式会社

電話番号

03-3811-4151（緊急時も同様）

【その他の安全性情報】

Web サイト

<https://www.acoma.com>